

5.8 葉山海岸一色下山口地区

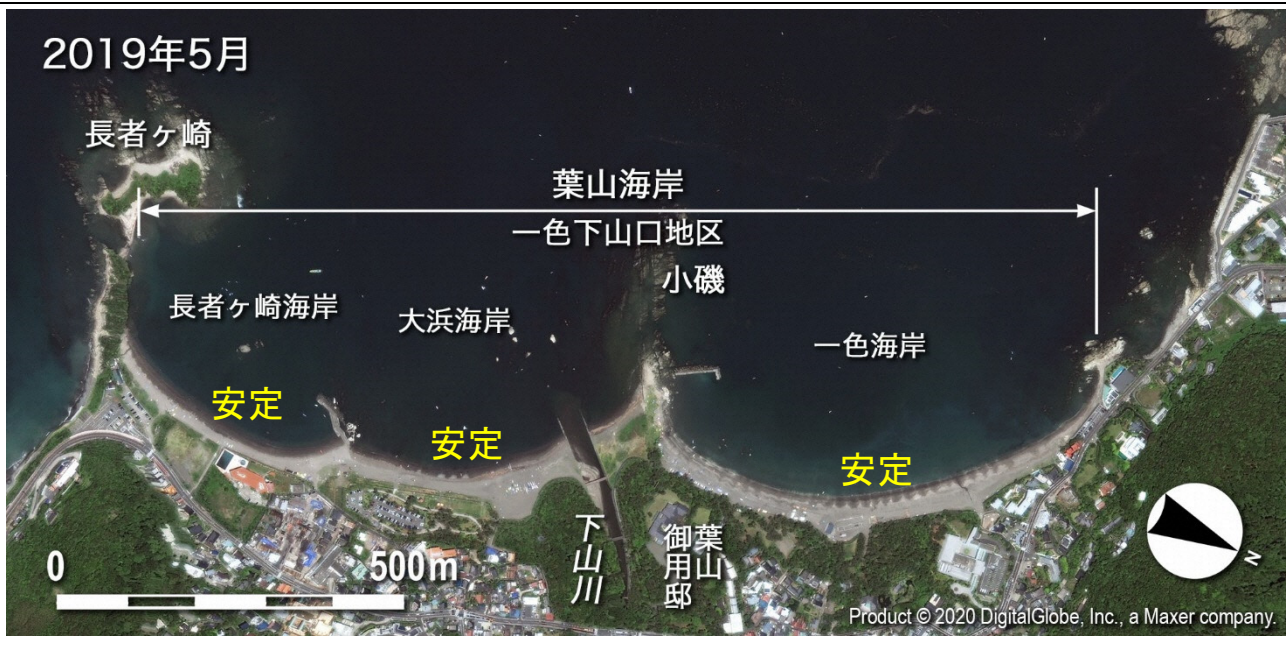
(ポケットビーチ)

※ 対策の実施に際しては、本計画に基づき、養浜及びサンドリサイクルの量、質、投入方法等に関する、より具体的な検討を加えるものとします。

葉山海岸一色下山口地区（ポケットビーチ）

【海岸概要】

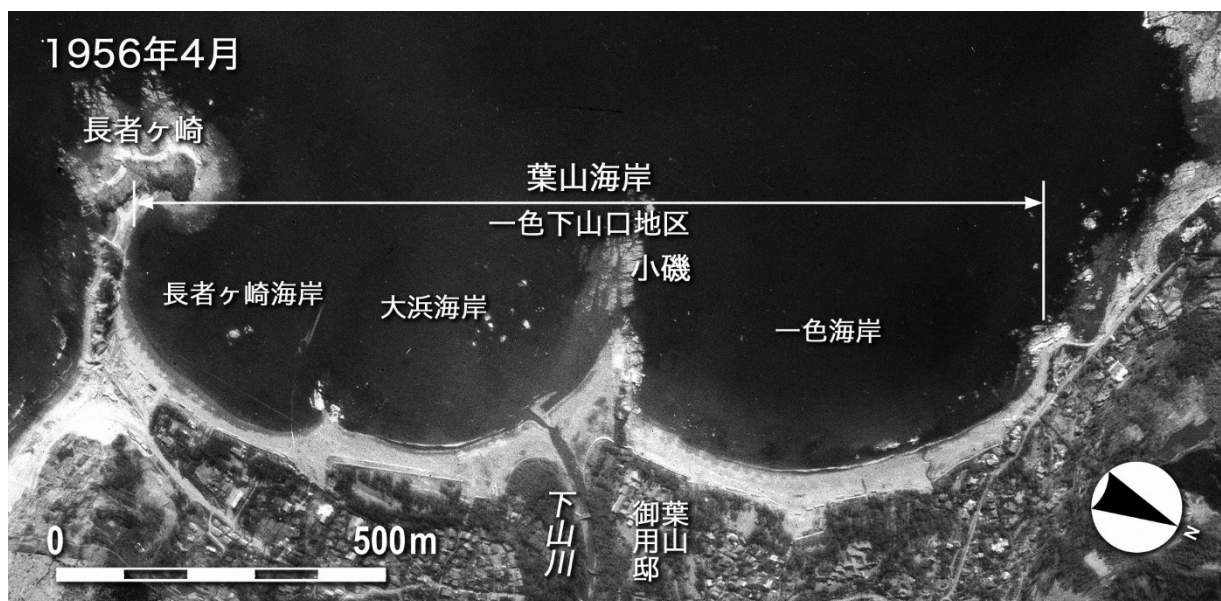
葉山海岸一色下山口地区は、長者ヶ崎の北側、葉山海岸堀内地区の南側に位置し、両端を岬により区切られた長さ 2.1km のポケットビーチです。海岸の中央部には小磯の岩礁と背後に細長く伸びた砂州があり、これにより南北両側に 2 つの弓状のポケットビーチが形成されています。また、北部と南部では岩礁が張り出しています。



【現状の海岸の評価】

海岸名		葉山海岸
地区名		一色下山口地区
砂浜の安定性	傾向	安定
	変形要因	・ 突堤や導流堤の建設により、過去に海岸線の変形が生じましたが、現在では安定した状態を保っています。
	変形予想	・ 変化は小さいと予想されます。
砂浜の波消し機能による高波からの海岸背後地等の防護		○ 防護されています（ほぼ全域）
課題		現状の砂浜の維持

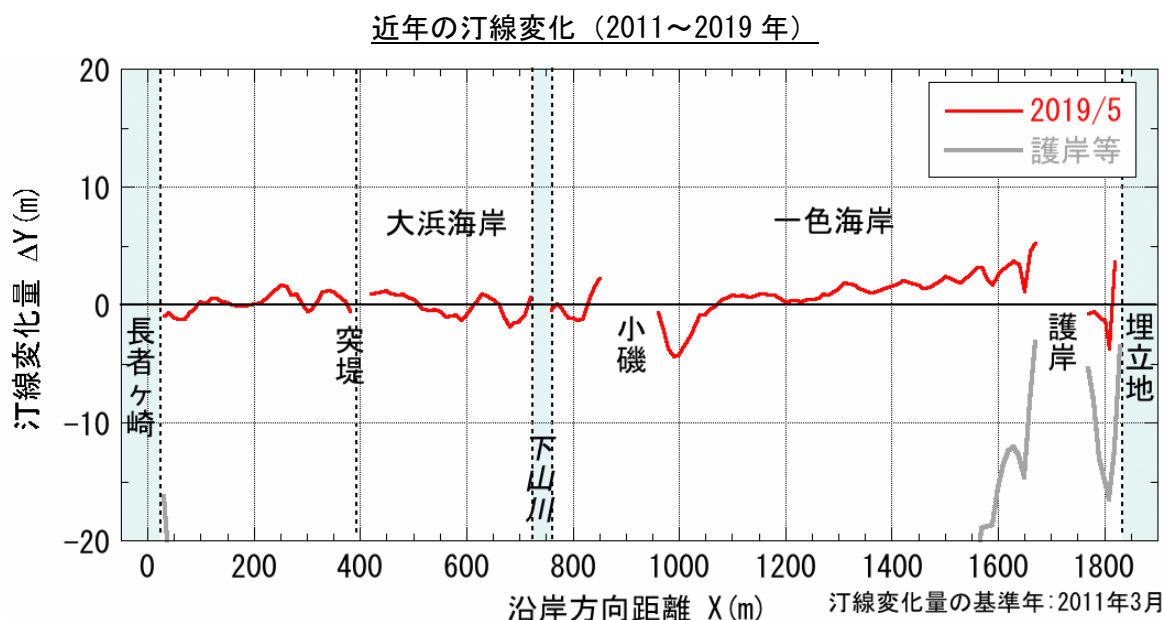
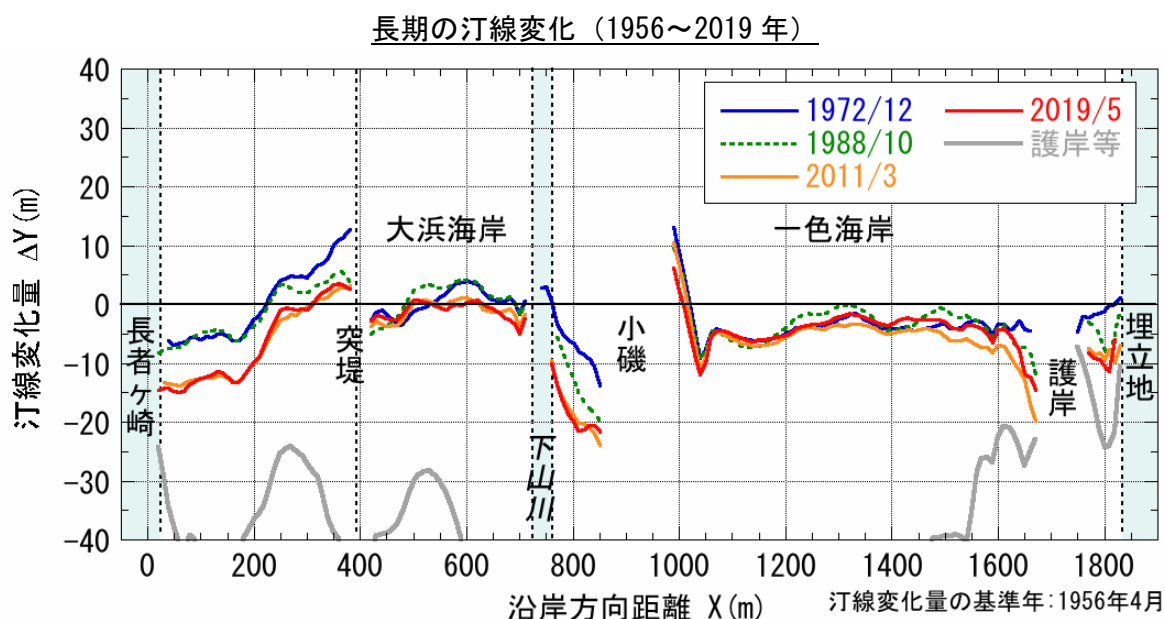
【空中写真による海岸の変遷】



【海岸線の変化】

1956年から1988年までは、小磯の北側（一色海岸）では海岸線が最大20m後退し、侵食傾向となっています。下山川から突堤間では海岸線は安定していますが、突堤から長者ヶ崎間では最大10m前後の海岸線の前進と後退が生じています。

2011年から2019年までの海岸線の変化は、全体的に5m以下と小さく、顕著な侵食が生じている箇所はなく、安定した状態を保っています。ただし、高波浪の影響により、海岸線が一時的に5m程度後退することもあります。



【侵食対策の基本方針】

砂浜の安定性と波消し機能より、葉山海岸一色下山口地区の砂浜の回復・保全の方向性は以下の通りです。

葉山海岸	砂浜評価	基本方針
一色下山口地区	タイプD	・砂浜は安定傾向にあり、砂浜の消波し機能により背後地の防護水準が保たれていることから、現状の砂浜を保全（維持・管理）します。

【侵食対策の計画浜幅】

葉山海岸	計画浜幅
一色下山口地区	現状の砂浜

【侵食対策計画】

葉山海岸	侵食対策計画
一色下山口地区	なし

【維持管理】

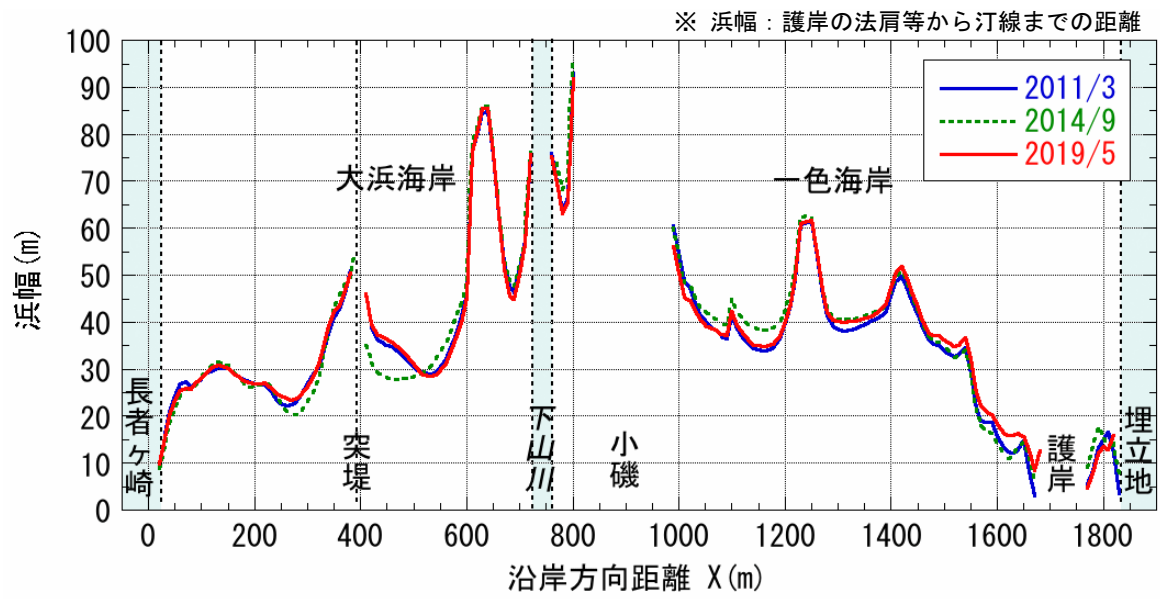
砂浜の状況をモニタリングし、必要に応じて養浜やサンドリサイクルを実施します。また、飛砂によって陸地側に砂が過剰に堆積した場合には、砂を海岸線へ戻します。

葉山海岸	維持管理
一色下山口地区	必要に応じて数年毎に養浜（500m ³ 程度）やサンドリサイクルを実施します。 陸地側に過剰に堆積した飛砂を海岸線へ戻します。

【維持管理のイメージ】



【浜幅の変化】



5.9 葉山海岸堀内地区

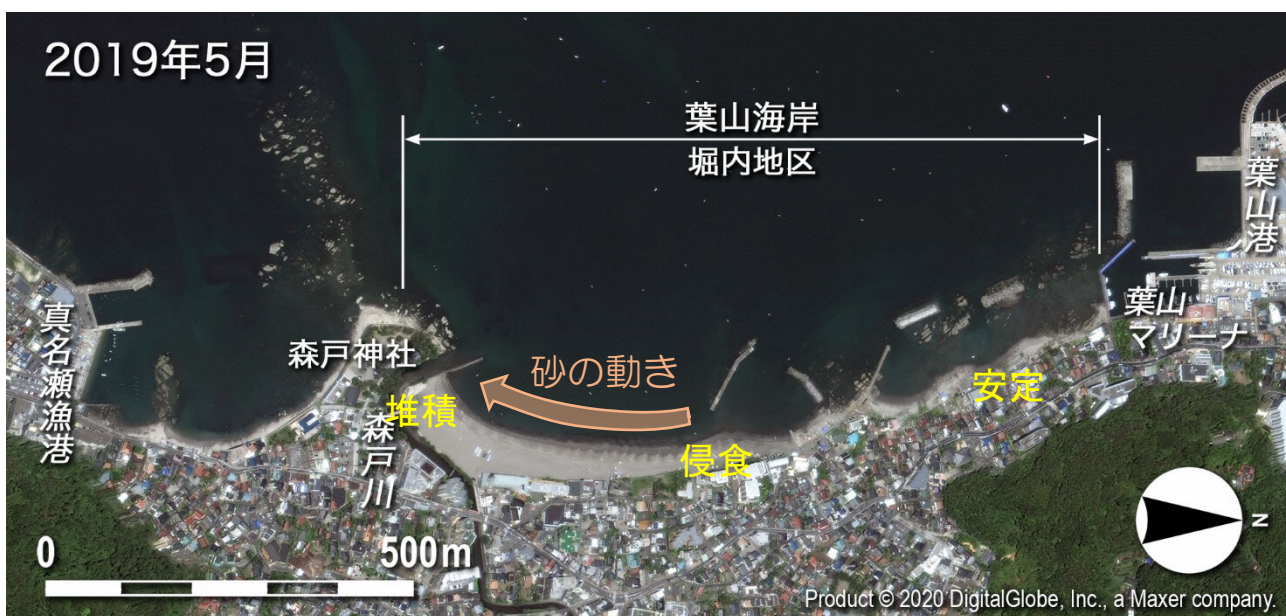
(ポケットビーチ)

※ 対策の実施に際しては、本計画に基づき、養浜及びサンドリサイクルの量、質、投入方法等に関する、より具体的な検討を加えるものとします。

葉山海岸堀内地区（ポケットビーチ）

【海岸概要】

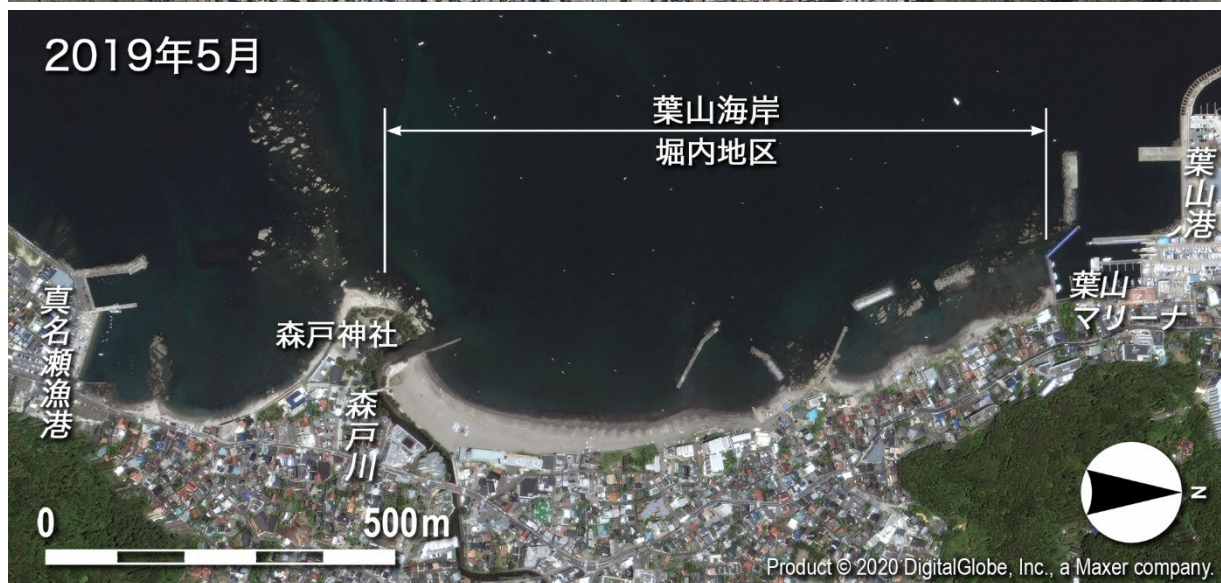
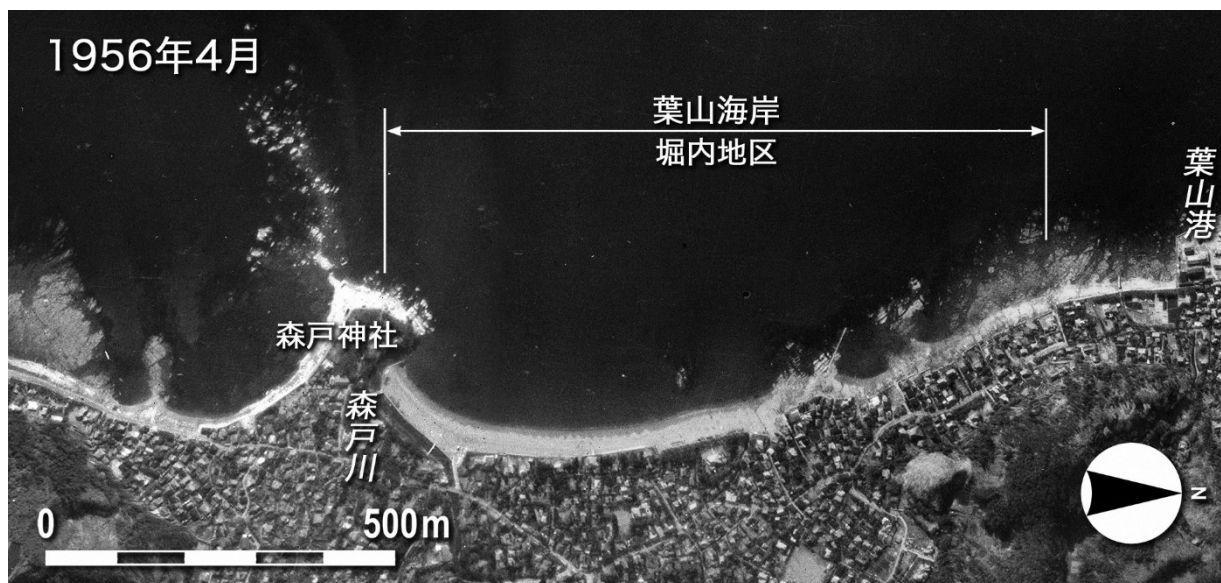
葉山海岸堀内地区は、南端を森戸川河口左岸に伸びた岬により、北端を葉山マリーナにより区切られた長さ 1 km のポケットビーチです。海岸背後には民有護岸が連なり、その前面には漁船や漁具倉庫が点在するため、台風等の高波により漁具倉庫の破壊や民家への越波被害が発生していました。このため離岸堤等の高潮対策が実施されました。



【現状の海岸の評価】

海岸名		葉山海岸
地区名		堀内地区
砂浜の安定性	傾向	安定
	変形要因	・ 離岸堤整備の影響等により局所的な侵食が生じていましたが、最近では安定傾向にあります。 ・ 南部の森戸川河口付近では、南向きの砂移動により堆積傾向となっており、また、飛砂が森戸川の河口部河道に落ち込んでいます。
	変形予想	・ 変化は小さいと予想されます。
砂浜の波消し機能による高波からの海岸背後地等の防護		× 防護が不足しています
課題		背後地の防護

【空中写真による海岸の変遷】

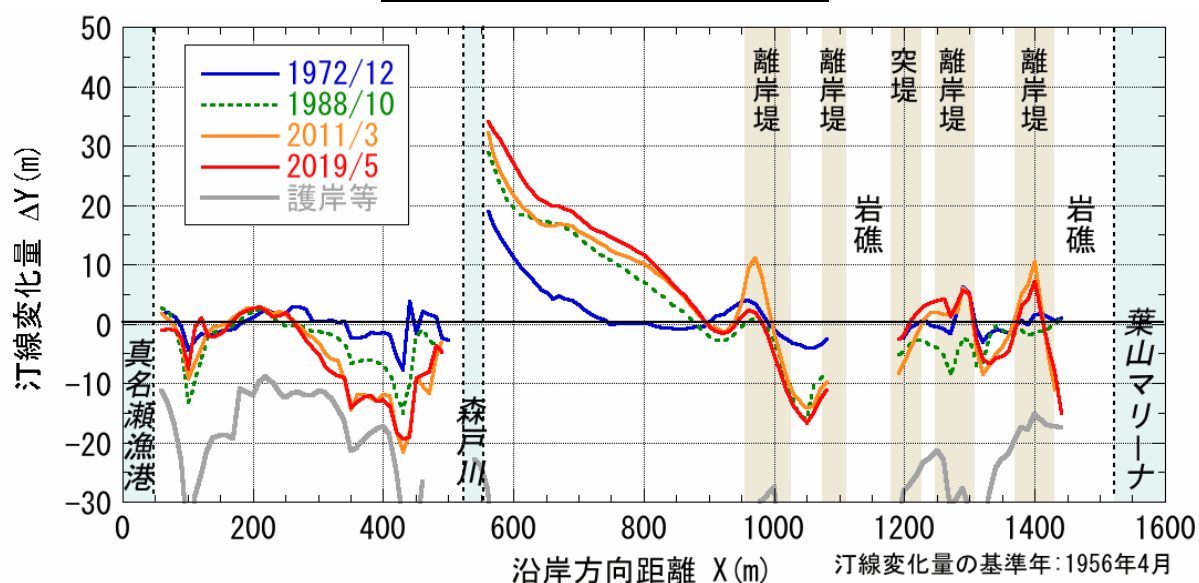


【海岸線の変化】

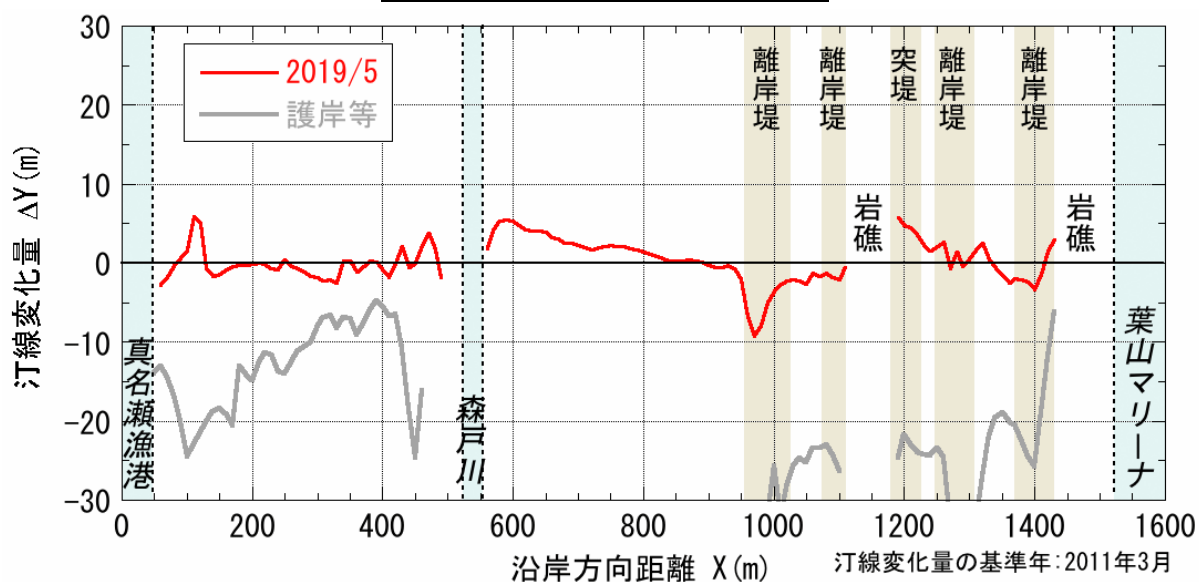
1956 年から 1988 年までは北部で海岸線が約 15m 後退した一方、南部では約 30m 前進しました。1988 年から 2011 年までの海岸線の変化は小さく、安定しています。

2011 年から 2019 年までの海岸線の変化は、一部を除いて 5m 以下と小さく、安定した状態を保っています。海岸線が最大 10m 後退している箇所も、離岸堤背後の浜幅が 30m 以上ある場所です。一方で、森戸川河口左岸では堆積傾向となっています。

長期の汀線変化（1956～2019 年）



近年の汀線変化（2011～2019 年）



【侵食対策の基本方針】

砂浜の安定性と波消し機能より、葉山海岸堀内地区の砂浜の回復・保全の方向性は以下の通りです。

葉山海岸	砂浜評価	基本方針
堀内地区	タイプB	- 一部箇所を除いて砂浜は安定傾向にありますが、砂浜の波消し機能による背後地の防護が不足していることから、護岸の改良とサンドリサイクルによる砂浜保全を進めます。 注) 離岸堤等の整備により背後地を防護していますが、防護水準が一部不足している箇所では、護岸等の施設整備などを検討します。

【侵食対策の計画浜幅】

葉山海岸	計画浜幅
堀内地区	現状の砂浜

【侵食対策計画】

森戸川側から北側へのサンドリサイクルによる砂浜の維持を図ります。また、サンドリサイクルのみで砂浜を維持できない場合には、養浜を実施します。なお、防護水準が一部不足している箇所では、護岸や防潮門扉の整備などを検討します。

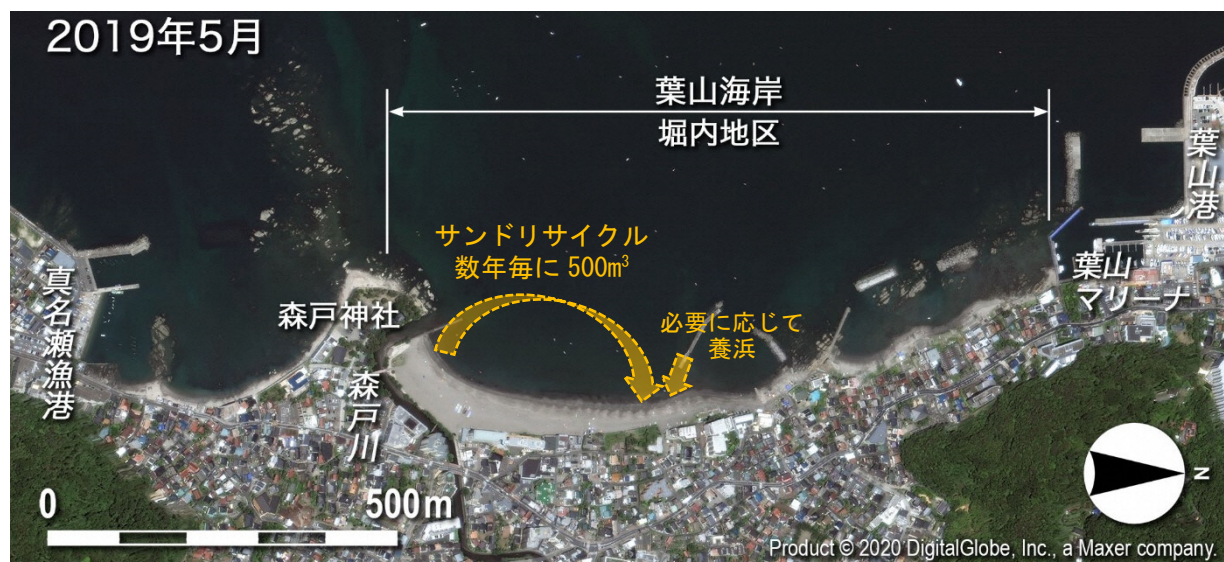
葉山海岸	侵食対策計画
堀内地区	森戸川河口右岸の飛砂のサンドリサイクル（500m ³ 程度）を数年毎に実施します。必要に応じて養浜（500～1,000m ³ 程度）を実施します。

【維持管理】

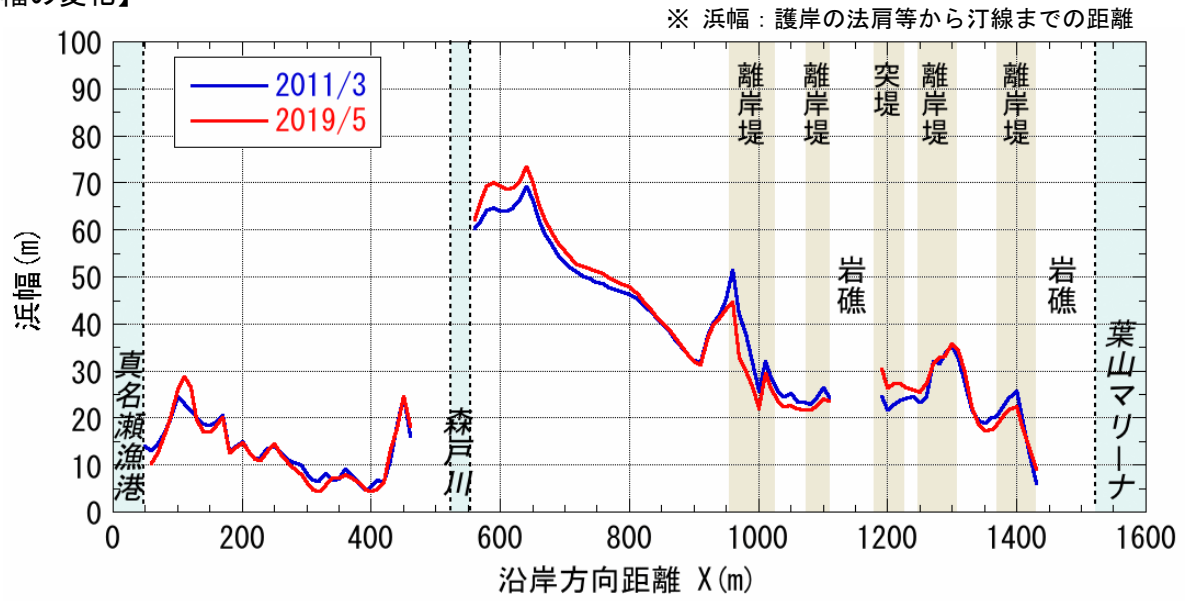
砂浜の状況をモニタリングし、必要に応じて森戸川側から北側へのサンドリサイクル等を行って海浜の維持を図ります。

葉山海岸	維持管理
堀内地区	森戸川河口右岸の飛砂のサンドリサイクル（500m ³ 程度）を数年毎に実施します。必要に応じて養浜（500～1,000m ³ 程度）を実施します。

【侵食対策・維持管理のイメージ】



【浜幅の変化】



5.10 逗子海岸逗子地区

(ポケットビーチ)

※ 対策の実施に際しては、本計画に基づき、サンドリサイクルの量、質、投入方法等に関する、より具体的な検討を加えるものとします。

逗子海岸逗子地区（ポケットビーチ）

【海岸概要】

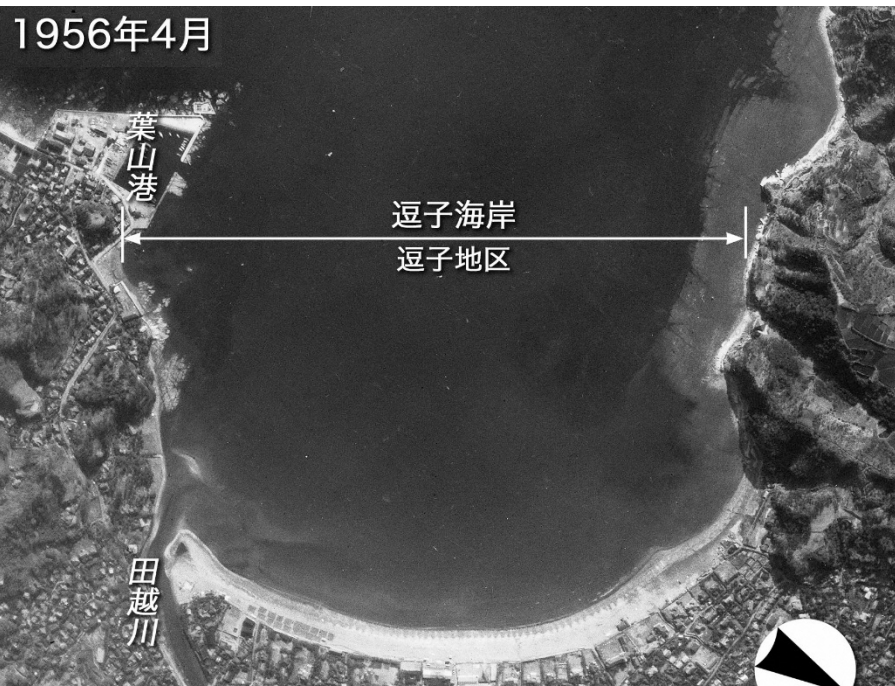
逗子海岸逗子地区は、三浦半島の付け根に位置し、北端の大崎と南側の葉山港に挟まれた奥深い長さ1.1kmのポケットビーチです。ポケットビーチの南端に葉山港の防波堤が伸ばされたことで、防波堤により波がさえぎられた結果、波の遮へい域へ向かう砂の動きが発生し、北側では砂浜が狭まり、南側では砂浜が広がりました。砂浜が狭まった北側では、満潮時には背後の道路護岸へ波が直接作用する状況となっています。このため、田越川河口部で砂を採取し、その砂を北端部へ運ぶサンドリサイクルを進めてきており、砂浜保全に一定の効果をあげています。



【現状の海岸の評価】

海岸名		逗子海岸
地区名		逗子地区
砂浜の安定性	傾向	侵食（北部）
	変形要因	・葉山港の防波堤の陰となる波の遮へい域（南部）に向かって砂が移動し、北部では侵食（海岸線が後退）、南部では堆積（海岸線が前進）傾向となっています。 ・南端部では、堆砂と飛砂により田越川の河道内へと砂が運ばれています。
	変形予想（10年後）	・対策を行わず放置した場合には、海岸線に沿った南向きの砂移動により、北部では最大で10m程度海岸線が後退し、南部では10m程度海岸線が前進することが予想されます。
砂浜の波消し機能による高波からの海岸背後地等の防護		○ 防護されています
課題		北部の侵食の防止

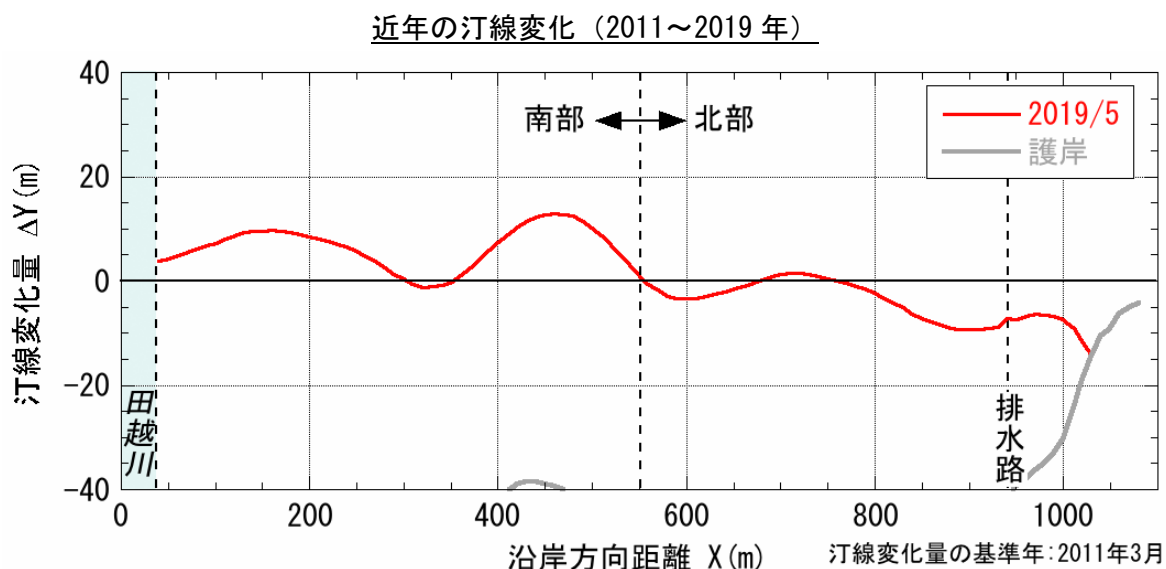
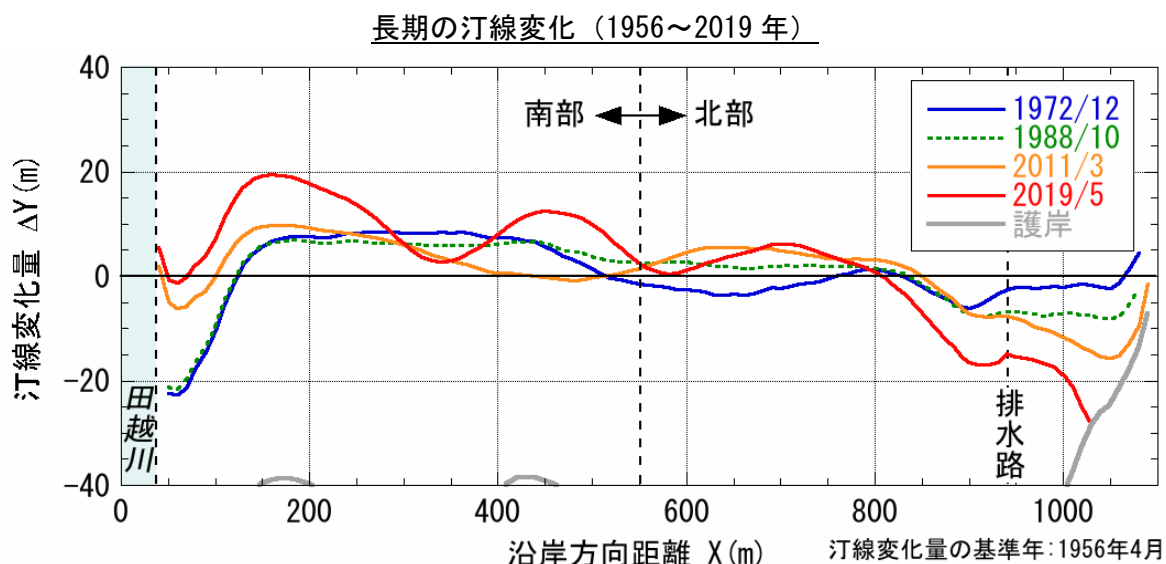
【空中写真による海岸の変遷】



【海岸線の変化】

1956年から1988年までは、北部で海岸線が約10m後退する一方で、南部では最大約10m前進しています。1988年から2011年までは、両端部を除いて海岸線は前進傾向にありますが、北端部では最大15m後退しています。

2011年から2019年までは、全体的には安定/堆積傾向にあり、北部では海岸線が最大約10m後退する侵食傾向を示していますが、南部では海岸線が前進する堆積傾向（最大10mを超える前進）となっています。



【侵食対策の基本方針】

砂浜の安定性と波消し機能より、逗子海岸逗子地区の砂浜の回復・保全の方向性は以下の通りです。

逗子海岸	砂浜評価	基本方針
逗子地区	タイプC	・北部は浜幅が狭く侵食傾向ですが、砂浜の波消し機能により背後地の防護水準が保たれています。 ・北部の侵食を防止するために、必要に応じて南部から北部へのサンドリサイクルを行います。

【侵食対策の計画浜幅】

逗子海岸	計画浜幅
逗子地区	現状の砂浜

【侵食対策計画】

逗子海岸	侵食対策計画
逗子地区	北部の侵食状況をモニタリングし、南部から北端部へのサンドリサイクル（500～1,000m ³ /年）を行います。

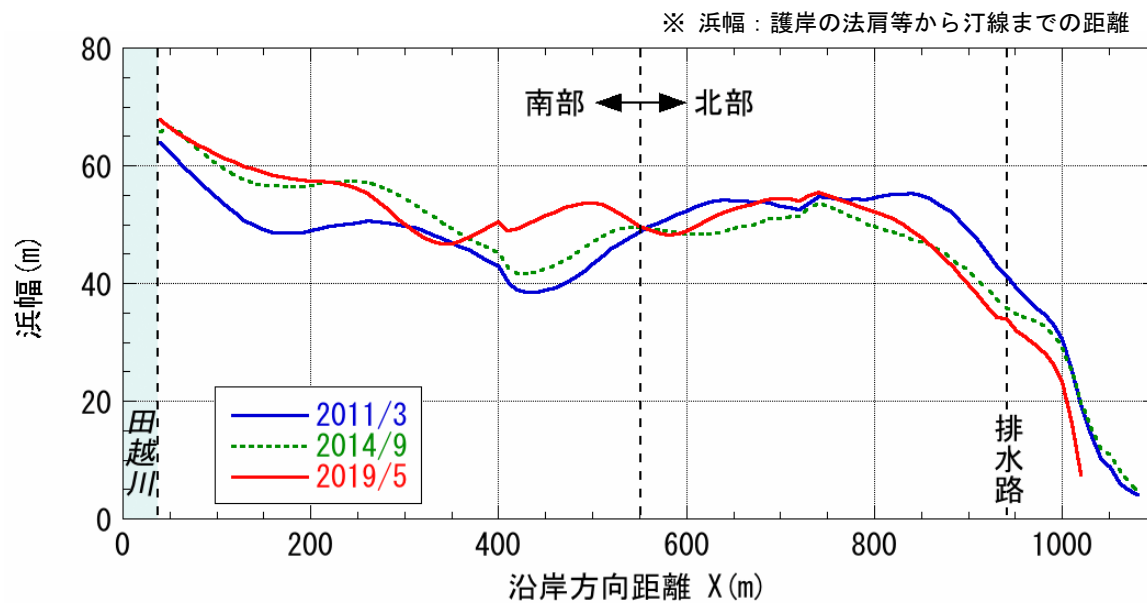
【維持管理】

逗子海岸	維持管理
逗子地区	必要に応じて南部から北端部へのサンドリサイクル（500～1,000m³/年）を行います。 注1）飛砂堆積の著しい箇所では、必要に応じて砂の海側への押し出しを行います。 注2）以下の田越川河口への土砂流入防止対策についても検討します。 田越川導流堤を通過する砂移動の防止対策（導流堤の改良等） 河道への飛砂防止対策

【侵食対策・維持管理のイメージ】



【浜幅の変化】



5.11 鎌倉海岸由比ガ浜地区

(ポケットビーチ)

※ 対策の実施に際しては、本計画に基づき、養浜及びサンドリサイクルの量、質、投入方法等に関する、より具体的な検討を加えるものとします。

鎌倉海岸由比ガ浜地区（ポケットビーチ）

【海岸概要】

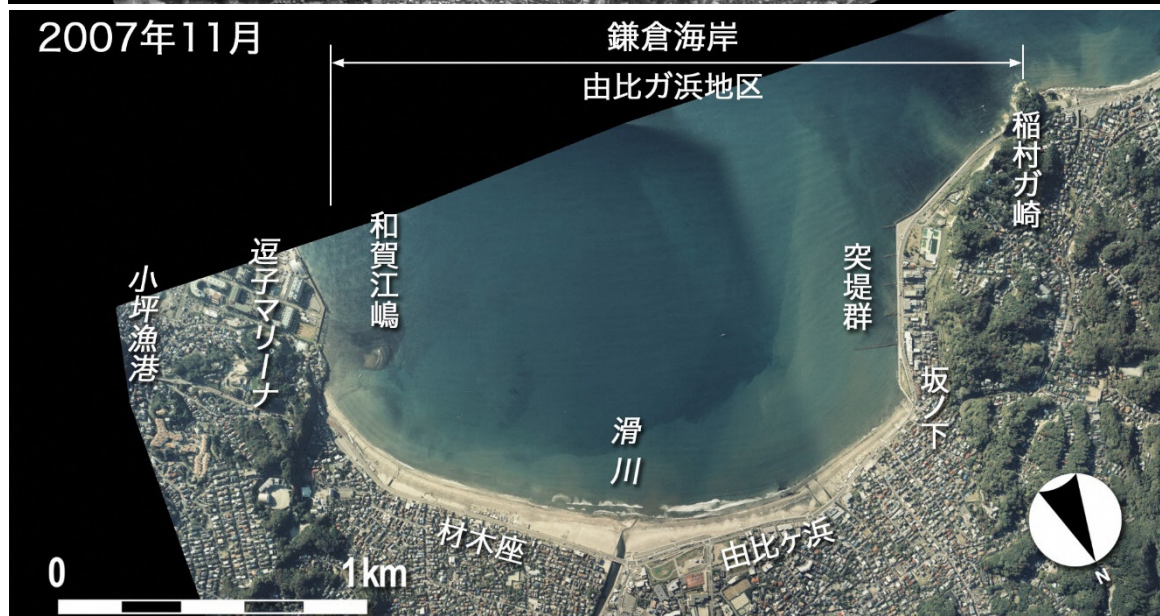
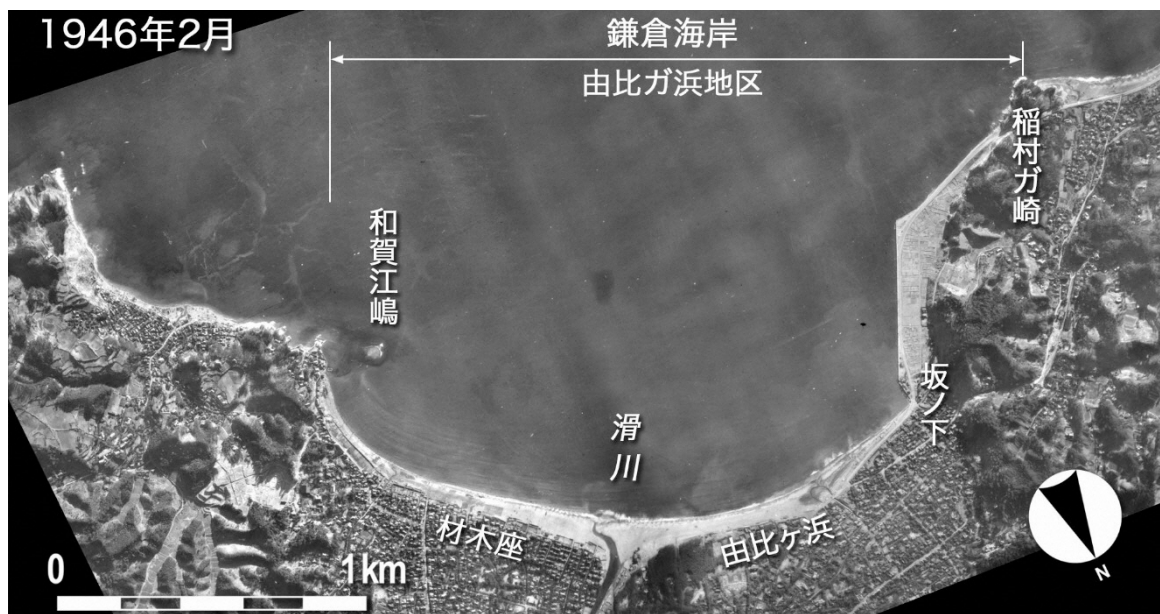
鎌倉海岸由比ガ浜地区は、西側を坂ノ下の埋立地により、東側を逗子マリーナに挟まれた長さ 2.2km のポケットビーチで、中央には滑川が流入している砂浜海岸です。由比ガ浜地区では、サンドリサイクルにより浜幅の狭い海岸の両端部に投入した砂が中央に向かって動いており、両端部では浜幅が狭い状況が続いています。一方、中央部の滑川河口周辺では浜幅が広く堆積傾向にあり、砂浜の砂が細かいために、背後地への飛砂が問題となっています。このため、飛砂によって溜まった砂を定期的に両端部の砂浜へ戻すサンドリサイクルを行うとともに養浜も行っていますが、両端部に投入した砂は留まることなく中央部に向かって移動しています。



【現状の海岸の評価】

海岸名		鎌倉海岸
地区名		由比ガ浜地区
砂浜の安定性	傾向	安定/堆積（両端部を除く）
	変形要因	・ 2011 年以降、養浜及びサンドリサイクルを実施しており、両端部を除いて安定/堆積傾向となっています。
	変形予測（10 年後）	・ 対策を行わず放置した場合は、海岸中央部では堆積が進みます。 ・ 両端部では侵食が進み、10 年後の最大汀線後退量は 10 m となります。
砂浜の波消し機能による高波からの海岸背後地等の防護		△ 一部で防護が不足しています
課題		飛砂堆砂の解消 背後地の防護

【空中写真による海岸の変遷】



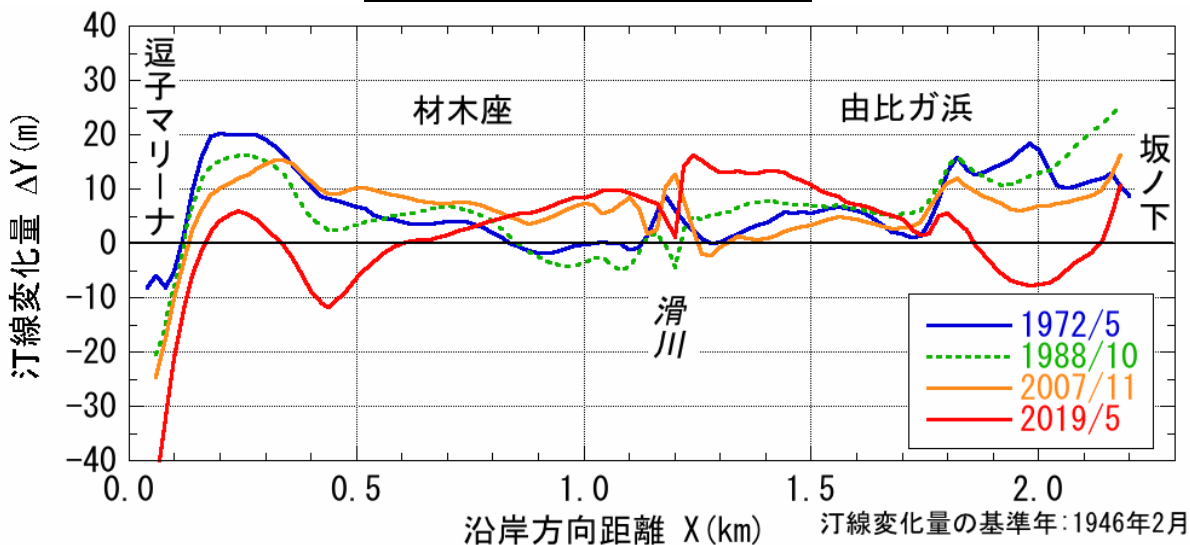
【海岸線の変化】

1946 年から 2007 年までは、全体的に海岸線が前進傾向にありましたが、逗子マリナ近くの材木座の東端部では海岸線が最大 25m 後退しました。

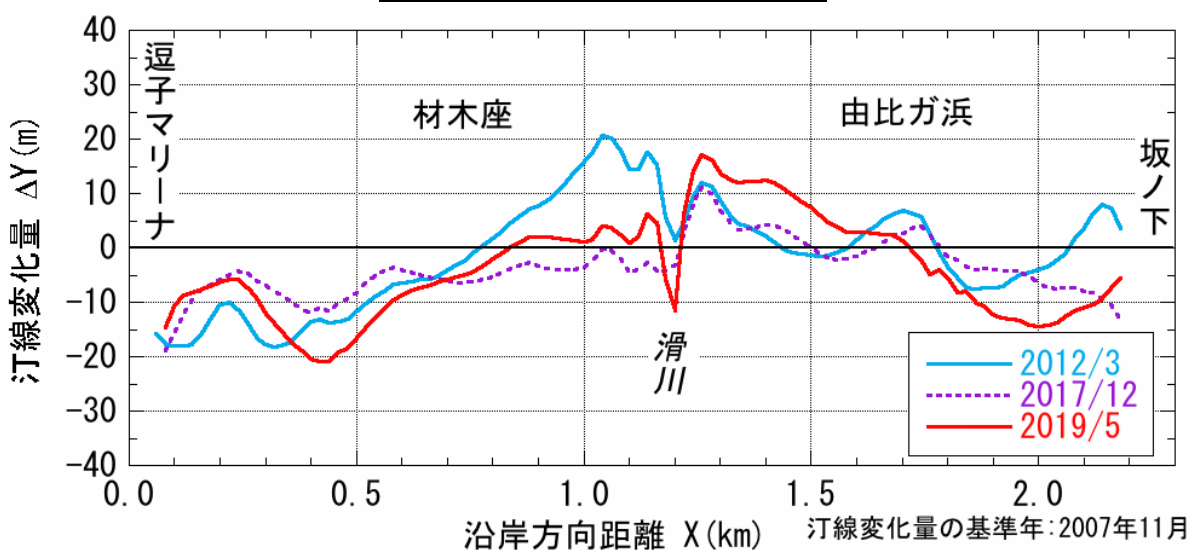
2007 年から 2019 年までは、両端部で侵食傾向、中央の滑川河口周辺では堆積傾向となっています。材木座の東端部では海岸線が後退傾向にあり、汀線の最大後退量は約 20m に達しています。また、由比ガ浜西端の坂ノ下付近でも海岸線が後退傾向にあり、最大後退量は約 15m となっています。一方、中央の滑川河口周辺では堆積傾向となっています。

由比ガ浜地区では、1992 年以降継続的に養浜が行われており、2019 年までに合計で 61,000m³ の土砂が投入されています。また、2011 年以降、滑川河口周辺に堆砂した飛砂を活用したサンドリサイクルや養浜が行われ、2019 年までに合計で 1.7 万 m³ の砂が海岸の両端部に投入されていますが、両端部での侵食傾向は続いています。

長期の汀線変化（1946～2019 年）



近年の汀線変化（2007～2019 年）



【侵食対策の基本方針】

砂浜の安定性と波消し機能より、鎌倉海岸由比ガ浜地区の砂浜の回復・保全の方向性は以下の通りです。

鎌倉海岸	砂浜評価	基本方針
由比ガ浜地区	タイプB	・海岸中央部は堆積傾向にあり、浜幅も広いですが、飛砂による過剰な砂の堆積が問題となっていることから、堆積した砂を活用したサンドリサイクルを継続します。 ・両端部は浜幅が狭く、侵食傾向にあることから、サンドリサイクル等により砂浜を保全します。

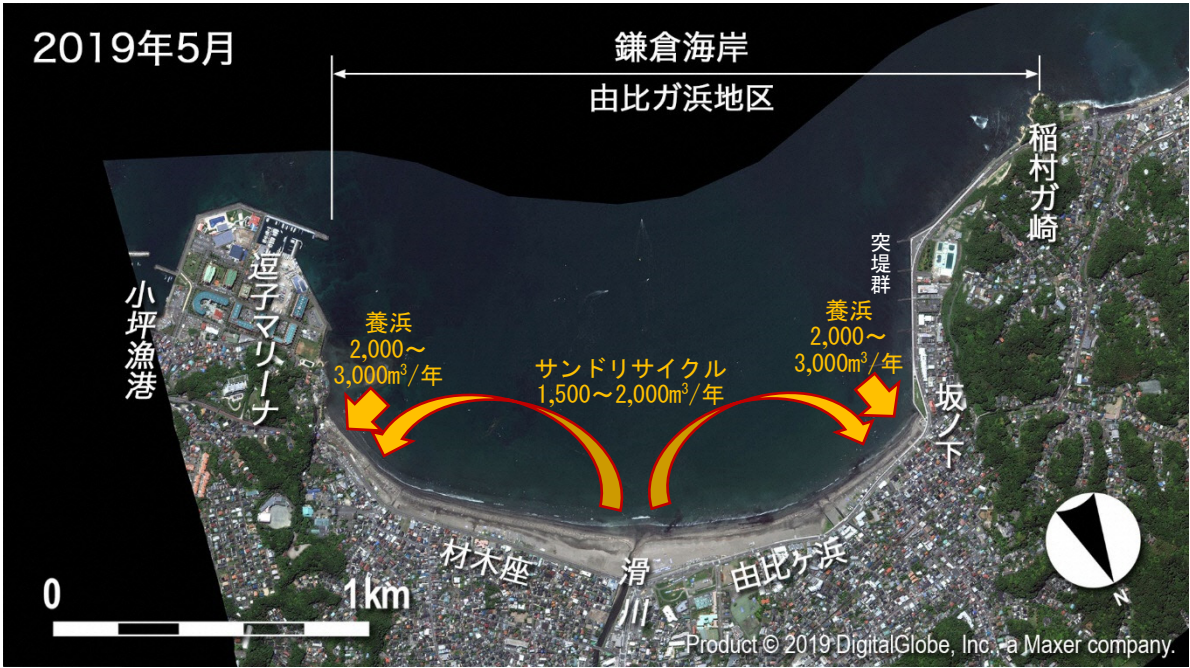
【侵食対策の計画浜幅】

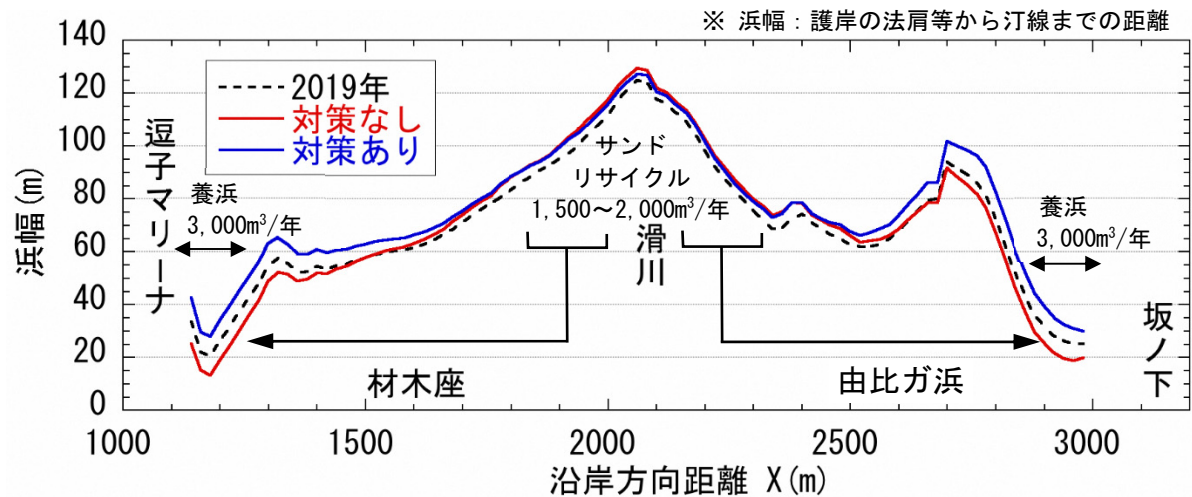
鎌倉海岸	計画浜幅
由比ガ浜地区	現状の砂浜（30m以上）

【侵食対策計画】

鎌倉海岸	侵食対策計画
由比ガ浜地区	両端部で各々2,000～3,000m³/年の養浜を行い、砂浜を保全します。 注) 中央の滑川河口周辺から両端部へのサンドリサイクル(1,500～2,000m³/年)を含みます。

【侵食対策のイメージ】



【侵食対策（養浜 6,000m³/年）の有無による浜幅の変化予測結果（10 年後）】


【維持管理】

鎌倉海岸	維持管理
由比ガ浜地区	中央の滑川河口周辺からのサンドリサイクル（1,500~2,000m ³ /年）により砂浜を維持します。

【維持管理のイメージ】

